



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第10巻
第1号) 編集後記・購読要項・投稿
内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第10巻第1号) 編集後記・購読要項・投稿内
規. 泌尿器科紀要 1964, 10(1): 58-58

ISSUE DATE:

1964-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112505>

RIGHT:

Vol. 10, No. 1

Acta Urologica Japonica

January 1964

泌 尿 器 科 紀 要

第 10 卷 第 1 号

昭和 39 年 1 月

随想 泌尿性器腫瘍の外科について（私の私見）	伊藤 泰二	1
腎クリアランスに関する研究		
第II篇 家兎腎のX線照射後に於ける腎変化と腎クリアランス	浜田 邦彦	3
久留米大学泌尿器科学教室に於ける泌尿生殖器外傷の統計：続報	嶺井 定一・高田 千年	27
真性半陰陽の2例	酒徳治三郎・本郷 美弥・蛭多 量令・北山 太一・相馬 隆臣	33
新化学療法剤 Nalidixic Acid の治験	西浦 常雄・横山 繁・石神 行雄	41
キモプシンの使用経験		
特に泌尿器科手術患者並びに男子不妊症患者について	稲田 務・酒徳治三郎・沢西 謙次・吉田 修	47
学会記事 第25回日本泌尿器科学会関西地方会		57
編集後記・購売要項・投稿内規		58

Studies on Renal Clearance

Part II: Changes of Kidney and Renal Clearance Following X-Ray Irradiation to the Kidney in Rabbits.	K. Hamada	3
--	-----------	---

Statistics of Urogenital Trauma in the Department of Urology, Kurume

University.	T. Minei and C. Takada	27
-------------	------------------------	----

Two Cases of True Hermaphroditism.

	J. Sakatoku, H. Hongo, K. Ebisuta, T. Kitayama T. Sohma	33
--	---	----

Nalidixic Acid -A New Antibacterial Agent.

	T. Nishiura, S. Yokoyama and Y. Ishigami	41
--	--	----

Clinical Experiences with "Kimopsin" in the Field of Urology.

	T. Inada, J. Sakatoku, K. Sawanishi and O. Yoshida	47
--	--	----

京 都 大 学 医 学 部 泌 尿 器 科 学 教 室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌 尿 紀 要

Acta Urol. Jap.

編集後記

大学病院や公的病院で医師が不足シテイル。既チ勤務医が払底シテイル。開業医ハ 僻地以外でハ過剰デアルヨウダ 日本全体デハ 人口ト医師数トノ比率ガ大体ニ妥当デアルカモ知レヌガ 地域的ニ或ハ職域的ニハ著イ不均衡ガアルヨウダ。文部省ヤ厚生省ノ役人ハ 机上ノ数字ヲ主トシテ考エ 現場ノ実情ニ疎イタメデアルノカ 医学生及ビ医師ヲ増加スル必要ハナイト 簡単ニ考エテイルヨウダ。現実ニ勤務医ガ如何ニ不足シテイルカハ 病院ノ実態ヲ見レバ 直グニ判ル事デアル。ソコデ医学生ヲ増シ 従ツテ医師ヲ増ス事ハ勿論必要デアルガ 単ニソレダケデハナク 医師ガ開業ノ方ヘ流レ込マズニ 勤務医ガ増スヨウナ方策ヲ講ジナケレバナラヌ。ソレニハ ハツキリ云エバ 勤務医ノ待遇ヲ良クスル事ダ。現在デハ 卒業後ノ暫クハ開業スルワケニユカヌカラ勤務医ニナツテイルガ ソノ内ニ俸給ノ低サノ故ニ開業スル事ニナル。開業医ハ 昔程デハナイガ 勤務医ヨリハマシデアル。ソレデ勤務医ノママデ継続サセルタメニハ ソノママデモ生活ニ不安ノナイダケノ俸給ヲ与エレバヨイ。ソウナレバ勤務医ノ不足ハ解消シ 開業医ノ過剰モナクナル。僻地医師ノ払底デモ医師ガワルイノデハナイ。待遇ヲ充分ニスレバ僻地ヘ行ク医師モアル。唯 コレヲ場合ニ最モ問題ニナル点ハ 勤務医ノ大多数ハ公務員又ハソレニ準ズル身分デアルタメニ 医師以外ノ公務員トノ均衡ヲ破ツテ 医師ダケノ待遇ヲ上ゲルワケニハユカヌト云ウ考エデアル。現在ノ法律デハソウナツテイルノデアロウ。然シコノ考エ方ハ戦後ニ始ツタモノデアル。大学教授モイツノ間ニカ公務員ト云ウ事ニナリ 他ノ役人ト何ラ変ラヌ事ニナツタ。他ノ勤務医モ同様デアル。コレガーツノ根本的ノ問題デアル。

次ニ公的病院医師ノ俸給ガ低イノハ 病院収入ガ少イ事ニモ関係ガアル。医師払底ノ折柄 医師ノ待遇ヲ改善シタイガ 病院収入ガ少イタメー コレ以上改善出来ヌト云ウ事情ガアル。コノ原因ヲ除クニハ 根本的ニハ医療費ノ値上ゲガ必要デアル。コレニハ諸方面カラノ反対ガアロウ。人間ハ一般ニ自分ニ不利ナ事ハ反対シ 他人ノ損ニハ平気デアルカラ 医療費値上ゲニハ反対スル者ガアロウ。然シ医師トシテモ犠牲ニナルワケニハユカヌ 勤務医ノ払底ニハ結局コノヨウナ根本的ナ点ガ問題ニナルガ ソレヲ是正シナケレバナラヌ (昭和39年1月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200円を前納する。1冊料金 120円。払込みは振替口座番号京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名:誌名、巻数:頁数、年次。
例。中野:泌尿紀要、1:110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45:527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します 抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。